

突然ですが問題です！これは何を表すグラフでしょう??

特集

郡上市の財政状況お知らせシリーズ ①

★左ページが見えないよう折りたたんで考えてくださいね★
(答えが左ページあります)

(単位：〇〇)



このうちから選んでみてね

1

ダイエットを頑張っているお父さんの体重変化

2

郡上市の令和6年度の貯金残高の推移

3

バブル崩壊後の日経平均株価の推移

◎財政コラム 私たちの支払った税金はどこへいく??

ちょっと一息。。
考えながら
読んでみてね

消費税編

私たちが1,000円の買いものをする。。

消費税は100円

地方消費税 22円

消費税 78円

地方消費税
1,030億円

出典：岐阜県HP

地方交付税
1,975億円

岐阜県の収入
9,020億円

消費税
24.9兆円

所得税
22.7兆円

法人税
19.2兆円

その他収入

国の収入
115.2兆円

その他税
11兆円

出典：財務省HP

【2種類の消費税】

消費税には国が収納する「消費税」と都道府県が収納する「地方消費税」の2つがあります。

【地方交付税】

国が収納した消費税の一部は「地方交付税」に形を変えて都道府県や市町村に分配され、行政サービスを支えています。

岐阜県が収納した地方消費税の2分の1が「地方消費税交付金」として市町村に交付され、貴重な財源となっています。

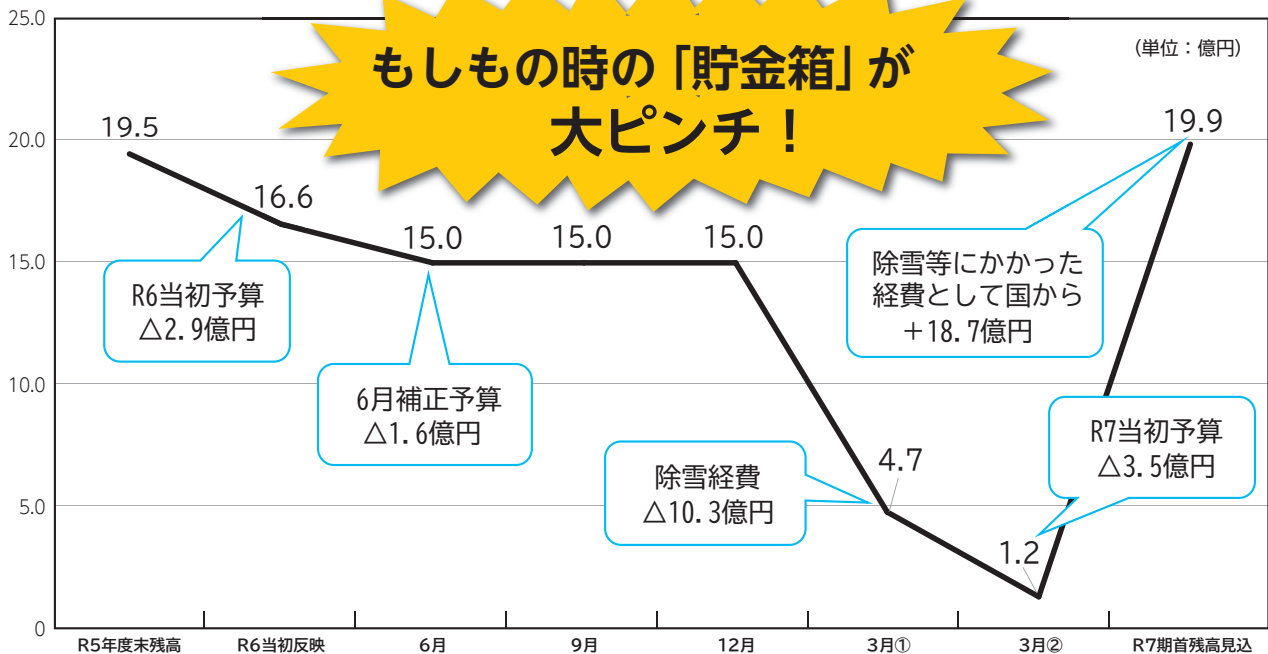
国税のうち消費税の19.5%など一定の税が地方に配分される「地方交付税」の原資となります

地方交付税 (19兆円)

地方交付税
117億円

地方消費税交付金
10億円

郡上市の収入 278億円



郡上市には「もしもの時」に備えた財政調整基金という大切なお金があります。例えるなら「いざという時の貯金箱」。災害や予測不可能な事態が起きたときに、市民の暮らしを守るために使う大切な備えです。

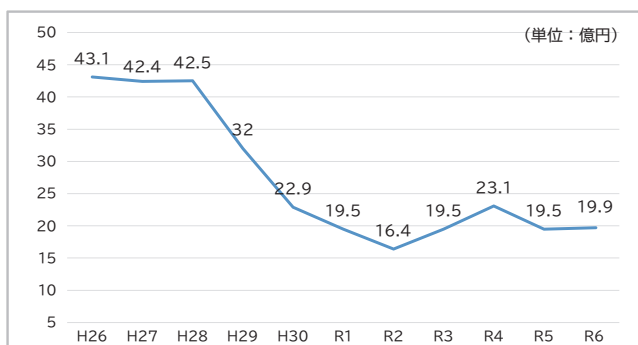
しかし、昨年度、記録的な大雪が郡上市を襲いました。道路の除雪、ライフラインの確保など、みなさんの暮らしを守る緊急対策に貯金はみるみる減っていきました。そして一時、1.2億円という危険水準にまで落ち込んでしまいました。これは、1年間を500万円でやりくりしている家庭に例えると、貯金が2万円しかなくなってしまったということになります。もし、さらなる災害が起こっていたらと思うと…。この経験から災害への備えと財政基盤強化の重要性を改めて認識しました。

なぜ今の状況になったの？ & 今後の見通しは？

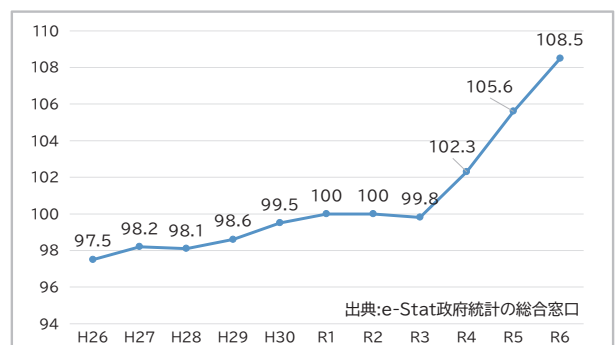
バブル崩壊以降、物価が下がり続けた時期には、収入が増えない中でも市の貯金をあまり使わずにみなさんへのサービスを提供できていました。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行後、物価が上がり始め、ここ数年は貯金を使いながら何とかこれまでと同じようなサービスを続けてきました。

ところが今、市の貯金は危険な水準まで減っています。例えば、今回のような大雪などの災害が起きると、残りの貯金がすぐになくなってしまう可能性があるのです。さらに、道路や公共施設の老朽化による修理費用の増加や、市立病院の赤字が続いていることなどから、今後もお金が不足する状態が続くと予想されます。

郡上市の貯金残高の推移



日本のインフレ率の推移 (※R1=100)



郡上市の未来のために、みんなで力を合わせましょう！

郡上市の人口が減少する中、私たちは重大な岐路に立っています。令和7年度予算では、未来を担う子どもたちとその家族を支援するため、子育て関連の施策に重点的に予算を配分しました。

これからの市民サービスをどのように形作っていくべきでしょうか。現在のサービス水準を維持するため、負担を見直すのか、市の規模に合わせた身の丈に合ったサービス提供を目指すのか、様々な選択肢が考えられます。

市役所では、この厳しい財政状況を乗り越えるため、全力で取り組んでいます。しかし、より良い郡上市を作っていくには、市民のみなさんお一人おひとりのお力添えが欠かせません。そこで、みなさんにより詳しく市の財政状況をお伝えするため、これから数回にわたって広報で特集を組むことにしました。市の現状や課題、そして未来への展望をわかりやすくお伝えしていきます。次回の広報誌もぜひご覧ください。